

読書ボランティア（2019年7月）

麻布小学校では、今年度より保護者のみなさんからボランティアを募集し読み聞かせを行う試みが始まりました。

それに伴い、7月2日（火）に読書ボランティアの講習会（2回目）が行われました。

司書の対馬先生はじめリーディングアドバイザーの篠原先生、社先生、講習に参加した保護者と共に『6年生の朝読の見学』および『読み聞かせの講習』が行われ、読み方のポイントなどご教授くださいました。

はじめに6年生の教室で行われた朝読の見学では、対馬先生が『ゆうかんな靴直し』のストーリーテリングを始めると、静かな教室で児童一人一人が物語の中に入り集中する姿が印象的でした。心を落ち着かせて児童と大人が一つの物語を共有する時間は、いろいろなメッセージを感じる子供時代の今だからこそ、大切なことだと感じました。



見学の後にはボランティア向けの読み聞かせ講習会があり、ボランティアの保護者が皆の前で実際に読み聞かせに挑戦しました。

家での読み聞かせとは違い、本の高さ、声の大きさ、トーン、語尾など少し変化させるだけで随分と印象が違ってくるのことがわかりました。対馬先生からは「日本語は語尾が消えがちなので意識して発音すること」「絵が子供たちにみえるように肩くらいの高さまで上げること」「読み聞かせの本は事前に読んで起承転結を自分で把握しておくとの取り方などを作れて良いこと」など、具体的に教えていただきました。

先生方が選書して下さった絵本をもとに丁寧に読み方をご指導くださるので、安心してボランティアに参加できる体制ができています。

朝の10分、保護者の皆様も児童との読書時間を共有する機会にふれてみてはいかがでしょうか。

次回の講習会は夏休みのプールの時期に設ける予定で（日程未定）、実際の読み聞かせボランティアは9月10日（火）から始まります。

現在、各クラスに1人以上はボランティアを申し出てくれた保護者がいますが、来年度以降の継続した取り組みに向けて今からのご応募もお待ちしております。ご興味がある方は各担任の先生にご連絡ください。